



ウメモト インフォメーション



2020 年 9 月 4 日

担当者: 榎野

PS など値上げ

DIC

DICは、10月1日納入分からポリスチレン (PS) およびスチレン系製品を値上げする。対象はディックスチレンG PPS、ハイフランチ、ディックスチレンH1P

S、エラストレンで、改定幅は1キログラムあたり10円以上。国産ナフサやベンゼンなどが高騰し、原材料価格の上昇を自助努力のみで吸収するのは困難な状況にある。安定供給と事業を継続していくには価格改定が避けられないと判断した。

善したこともあって、第4四半期は1キログラムあたり3万4000円を超える水準になることが見込まれる。
原料コストの上昇を自助努力のみで吸収するのは困難で、価格を改定せざるを得ないと判断した。

10 月から

PE 値上げ

日本ポリエチレン

日本ポリエチレンは、10月1日納入分からポリエチレン (PE) を値上げする。改定幅は1キログラム

当りの13円以上。原油価格は新型コロナウイルス感染症拡大の影響による大幅な下落後、5月以降はOPPECプラスの協調減産の継続などもあり、反転上昇している。国産ナフサ基準価格は需給が改

10 月から

PP 値上げ

日本ポリプロ

日本ポリプロは、10月1日納入分からポリプロピレン (PP) を値上げする。改定幅は1キログラム

当りの13円以上。原油価格はOPPECプラスの協調減産継続と各国の経済活動再開により、第2四半期を底に反転上昇している。国産ナフサ基準価格は第4四半期に1キログラムあたり3万4000円を超えることが見込まれ、用役や副資材、副原料などの諸経費も上昇してきている。

これらのコスト上昇分を自助努力のみで吸収するのは困難で、価格を改定せざるを得ないと判断した。

用油
力滑
風潤
上潤
洋潤

交換頻度15年に延長

出光興産 NEDO 事業採択

出光興産は3日、同社の潤滑油事業が新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の助成

事業に採択されたと発表した。国内の洋上風力発電の拡大を見据え、洋上風車の軸受や歯車用の新たな潤滑油を開発する。潤滑油の平均交換頻度を現状の5年から15年へと3倍まで延長することを狙う。事業期間は2020年度から22年度の3年間で、同社の営業研究所が開発の中心を担う。NEDOに採択されたテーマは「風力発電機の長寿命化に向けたマルチスケールトライブ解析・実験による最適潤滑剤設計」。洋上風力の導入拡大を目的に、発電設備の耐久性向上に資する新技術の開発などを目指すNEDOの「風車運用・維持管理技術高度化研究開発」事業の一環で採択された。

エンスの知見を駆使し、潤滑油で求められる最適な基材の分子構造や組成を予測する。兵庫県立大学と岡山大学が開発した、摩擦と摩擦の低減に寄与する複数の新材料（トライブナノマテリアル添加剤）も基材候補に上がっている。同社では既に陸上風車向けの潤滑油を展開しているが、今回の助成で今後国内で導入が加速する洋上風車をターゲットに、潤滑油のラインアップを広げる。洋上風車は陸上風車と比べ、その立地からメンテナンスの難易度やコストが高い傾向にある。そこで、メンテナンスフリー化に寄与する潤滑剤が実現すれば、国内の洋上風力導入に大きく貢献できることになる。同社がこれまで潤滑油開発で培ってきた基材最適化技術・評価方法をベースに開発を進め、潤滑油に最適な分子構造の創出と実証を行う。

2020 年 9 月 4 日 担当者: 小松

ドライブシーズンの需要増で――

米 石 油 仕 庫 減 少

手がかり乏しい 原油相場下支え

夏季需期の「ドライブシーズン」以降、感染拡大にともない4～5月にかけて動きが鈍かったガソリン在庫も取り所しが進み、前年水準に近づきつつある。原油相場では堅調な値動きが続いてお

情報局)のまとめによると、8月28日時点の原油在庫は4億9840万バレルで前週から936万バレル減少。取り所しは6週連続に伸びた。6月19日には5億4072万バレルと、統計がさがのほれる1982年以降で最大となっていたが、4232万バレル(7.8%)減少している。ガソリン在庫は43.2万バレル減少の2億5486万バレルで、前週を4週続けて下回った。直近3カ月で最大だった6月5日の2億9806万バレルとくらべると、2380万バレル(9.2%)の取り所しとなった。前年との比較では4～6月はおおむね110%台で推移していたが、102.3%に低下している。米国では5月最終月曜日の「戦役将兵追悼記念日」(メモリアルデー)から、9月第1月曜日の「労働祭」(イバーデー)までの時期は、需期の「ドライブシーズン」とされる。新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、経済活動を制限する動きが繰り返されたものの、手堅いガソリン需要があったとみられる。ガソリン在庫は冬場に積み増しされ、夏先から取り所しがはじまるのが例年の傾向だ。だが今年は2月から3月にかけていったん減少したものの、新型コロナウイルスの感染が広がるなかで再び増加。4～5月の在庫の動きには鈍さが目立っていた。原油相場は米石油在庫の減少などが材料視され、堅調な値動きを示している。米産WTIの期近物は7月に40%台を固め、8月下旬には43%台まで上昇。2日は41%51で終えている。石油連盟の形勢委員会(ENR OSG)ホルディングス会長は7月の会見で、原油相場の見通しをめぐり、需期の米石油在庫を注目のポイントにあげていた。

凸版、AIでガードレールの腐食点検 走行中容易に

ネット・IT 住建・不動産 AI

2020/9/3 19:44 | 448文字

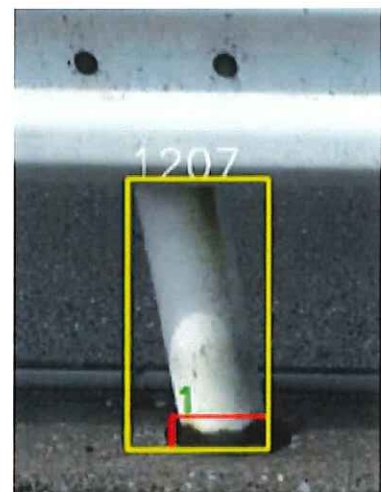
📄 保存 📧 共有 🖨️ 印刷 🗣️ 📄 🐦 📘 その他▼

凸版印刷は人工知能（AI）で高速道路のガードレール支柱の腐食を点検するシステムの販売を始めた。走行車両から撮影した動画を元に検出する。交通規制せずに補修箇所を特定でき、点検作業の負担を減らす。まず高速道路会社に販売する。将来は鉄道会社向けシステムの開発も視野に入る。

名称は「ガードレール支柱腐食点検システム」。ロボット開発のイクシス（川崎市）や建築資材製造のケー・エフ・シー（大阪市）と共同開発した。時速80～100キロメートルで走行する車両からガードレール支柱の動画を撮影し、AIで解析する。全支柱に番号を割り振りながら腐食の有無を自動検出することで、補修が必要なガードレールを迅速に特定できる。

通常、高速道路のガードレールの安全性維持管理では、技術者が目視で腐食などの異常を確認するという。本システムで交通規制や作業員の点検などの負担を軽減し、効率的にメンテナンスできる。

イクシスはAI画像解析技術の開発、ケー・エフ・シーが販売を担当する。一般道路や鉄道などにもシステムの応用を検討している。



🔍 画像の拡大

腐食した支柱の画像。時速100キロメートルで走行中でも撮影できる

丸紅 ウメモト インフォメーション

2020年9月4日 担当 小松

丸紅、メキシコで道路保守に参画

2020/9/4付 | 197文字 [有料会員限定]

 保存  共有  印刷     その他▼

丸紅は3日、メキシコで道路の保守事業に参画すると発表した。官民パートナーシップ（PPP）形式で、事業会社に25%を出資する。対象はメキシコ南部の2州を結ぶ135キロメートルの幹線道路で、トラックなど運搬用車両が多く利用する。丸紅はオーストラリアで交通インフラ事業を強化しており、路面電車や地下鉄の運営事業をPPP方式で受注している。メキシコでの出資を通じて道路事業にも参入、ノウハウを蓄積する。

引用記事

日経電子

毎日新聞

化学工業日報

燃料油脂新聞

前田建設、社債200億円発行

2020/9/3 20:00 | 234文字

 保存  共有  印刷     その他 ▾

ゼネコン準大手の前田建設工業は3日、総額200億円の無担保社債を発行すると発表した。社債発行は1年ぶり。調達資金は3月に実施した前田道路への株式公開買い付け（TOB）に伴う短期借入金の返済に充てる。

発行するのは10年債と5年債が100億円ずつで、利率はそれぞれ0.48%と0.22%。日本格付研究所（JCR）から「シングルA」の格付けを得た。

前田建設は3月、持ち分法適用会社だった前田道路にTOBを実施し、総額861億円で連結子会社にした。資金は銀行から調達していた。